産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
（都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書）

都道府県名　　千葉県

Ⅰ　産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

１　成果目標

（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量又は出荷量	現状 生産量又は出荷量 単位	現状 価格(販売単価)	現状 価格(販売単価) 単位	現状 生産コスト	現状 生産コスト 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量又は出荷量	目標 生産量又は出荷量 単位	目標 価格(販売単価)	目標 価格(販売単価) 単位	目標 生産コスト	目標 生産コスト 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量又は出荷量	実績 生産量又は出荷量 単位	実績 価格(販売単価)	実績 価格(販売単価) 単位	実績 生産コスト	実績 生産コスト 単位	スマート農業推進枠 年度	スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性
									ha										ha										ha																				
香取市農業再生協議会	44	香取市福田地区他、岩部、高萩、九美上地区、成田市大栄地区	人参、大根、キャベツ	優良な農地を集約化し、併せて、集出荷施設の整備や高性能機械を新たに導入することで効率的な作業体系と継続性・収益性のある農業経営を確立し販売額の増加を図る。	総販売額の74.3%の増加	R1	57,699,105円	6.0 3.2 7.5	ha	206.1 121.8 463.5	t	98 79 60	円			R4	110,853,847円	10.7 6.0 12.0	ha	481.5 270.0 660.0	t	107 70 61	円			R4	41,763,715円	7.6 1.6 4.4	ha	321 34.1 168	t	91 77 59	円	—									*現状値：販売実績より算出 目標値：生産面積増加による販売額で算出 検証方法：会社決算実績により検証可能*	-29.9	新型コロナウイルスの流行による主要出荷先業者の販売方針の変更に加え、資材・燃料費高騰の影響による３品目の作付面積の変更により、販売額が減少し、目標が未達成となった。販売額の増加に向け、まずは経営効率化と併せて、販路の新規開拓を行い、目標とした３品目のうち人参については栽培面積を増やしている。今後も販路拡大等を進めるべく取組主体を支援し、販売額を増加させる必要がある。	新型コロナウイルスの流行による主要出荷先業者の販売方針の変更に加え、資材・燃料高騰の影響による作付面積の変更により、目標が未達成となった。 目標達成の阻害要因を解決できるよう、引き続き販路の新規開拓を行うとともに、栽培面積を増やし、販売額が増加するよう地域協議会を指導する。	100%契約取引のため価格補正は行わない	
印西市農業再生協議会	45	印西市竹袋・大森地区	施設野菜（野菜苗）	ＧＨＰのリース導入を行うことで生産性の向上をはかり、販売額の１０%以上の増加を達成する。	総販売額の10%以上の増加	R1	667,410,373円	5.3	ha	6,123,908 （夏季生産分 1,745,139）	本	約109 （夏季生産分 約90）	円			R4	746,158,297円	5.3	ha	6,996,477 （夏季生産分 2,617,709）	本	約107 （夏季生産分 約90）	円			R4	721,681,992円	5.3	ha	6,517,093 （夏季生産分 2,704,885）	本	約111 （夏季生産分 約102）	円	—									*決算資料または決算根拠資料等により検証。*	68.9	生産資材やエネルギーコストの急増の影響により、生産者や園芸店での需要が下がってしまい、目標達成とならなかった。販売額の増加に向けて、報告対象期間後の令和５年１月に販売単価の値上げを行ったため、次回報告では目標達成見込みである。取組主体と販売状況を確認し、目標を達成できるよう支援する。	生産資材やエネルギーコストの急増の影響により、生産者や園芸店での需要が下がってしまい、目標達成とならなかった。販売単価の値上げを行ったことから次年度には達成が見込まれるが、目標達成に向けて、さらに販売数量の増加を目指すよう地域協議会を指導する。	※外的要因等による価格変動は生じない生産している苗は全て受注生産であり、予め価格が固定されているため、価格補正を行わない	
九十九里町農業再生協議会	48	九十九里町 東金市 大網白里市 山武市	きゅうり なす	集出荷貯蔵施設の整備により、仕向け先別の等級の簡素化と出荷量増加をすることで、総販売額10%以上の増加を図る	総販売額の10%以上の増加	R1	合計587,142千円 きゅうり 378,276千円 なす 208,866千円	合計 20.82 きゅうり 12.14 なす 8.68	ha	合計1,762.2 きゅうり 1,210.8 なす 551.4	t	きゅうり 312円 なす 379円	kg			R4	合計710,367千円 きゅうり 456,029千円 なす 254,338千円	合計21 きゅうり12.3 なす 8.7	ha	合計2100t きゅうり 1,448 なす 652	t	きゅうり 315円 なす 390円	kg			R4	合計528,306千円 きゅうり 383,770千円 なす 144,536千円	合計 20.04 きゅうり 13.16 なす 6.88	ha	合計1,790 きゅうり 1,328 なす 462	t	きゅうり 289 なす 312.8	円					きゅうり 321 なす 377	円	きゅうり 312 なす 324	円	きゅうり 1,028 なす 1.17	合計 563,622千円 きゅうり 394,515千円 なす 169,107千円	*販売電算データから検証できる*	-19.0	作型変更によるきゅうりの収穫期間の縮小や資材高騰によるなすの作付面積の減少により、販売額が減少し、目標は達成できなかった。 販売額の改善に向けて、全量出荷を呼びかけるなど取り組んでいる。 今後、集出荷貯蔵施設の利用拡大を図るべく、取組主体を支援し、販売額を増加させる必要がある。	作型変更によるきゅうりの収穫期間の縮小や資材高騰によるなすの作付面積の減少により、販売額が減少し、目標は達成できなかった。 目標達成に向けて、生産者の拡大や作型の再変更の検討により、栽培面積を拡大し、販売額を増加するよう地域評議会を指導する。		

（３）契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 総生産量又は総出荷量	現状 総生産量又は総出荷量 単位	現状 契約取引量	現状 契約取引量 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 総生産量又は総出荷量	目標 総生産量又は総出荷量 単位	目標 契約取引量	目標 契約取引量 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 総生産量又は総出荷量	実績 総生産量又は総出荷量 単位	実績 契約取引量	実績 契約取引量 単位	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性
									ha								ha								ha									
銚子地域農業再生協議会	47	銚子市全域、旭市飯岡・海上地区	トマト	農産物の国際化が進展する中、輸入農産物に打ち勝つため、共同選果施設の整備を行い、信頼される産地として集出荷体制を確立すると同時に、販売方法を一般競売販売中心から契約販売を取り入れ生産者の所得拡大と産地の継続を図る。	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	R1	33.0%	39.75	ha	3,223,136 （805,784）	kg (Σ-)	1,066,704 （266,676）	kg (Σ-)	R4	66.1%	41.10	ha	3,440,000 （860,000）	kg (Σ-)	2,273,840 （568,460）	kg (Σ-)	R4	29.1%		ha	2,797,304	kg	815,088	kg	*目標値に対する目標年度の実績値の達成度合いにより評価する*	-11.9%	新規契約の契約日をR5.4.1としたため、目標を達成できなかった。 今後、例年通りであれば目標を達成できる見込みであるため、契約状況を確認し、達成できるよう支援する。	新規契約の契約日をR5.4.1としたため、目標を達成できなかった。次年度に達成できるよう契約数及び契約日等を確認し、必要に応じて、契約栽培の割合増加に向けて支援するよう地域評議会に指導する。	令和5年4月1日に4社と新たに合計45万ケースの契約を締結しており、年間出荷量約70万ｹｰｽに対し少なくて見積もっても、年間契約出荷率を約80%まで向上させることが可能。	

（５）農産物輸出の取組（直近年の輸出実績がある場合の輸出向け出荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出向け出荷額の割合５%以上又は輸出向け年間出荷量10トン以上）

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 総出荷量又は総出荷額	現状 総出荷量又は総出荷額 単位	現状 輸出向出荷量又は出荷額	現状 輸出向出荷量又は出荷額 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 総出荷量又は総出荷額	目標 総出荷量又は総出荷額 単位	目標 輸出向出荷量又は出荷額	目標 輸出向出荷量又は出荷額 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 総出荷量又は総出荷額	実績 総出荷量又は総出荷額 単位	実績 輸出向出荷量又は出荷額	実績 輸出向出荷量又は出荷額 単位	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性
									ha								ha								ha									
柏市農業再生協議会	41	新利根地区,上利根地区，弁天下地区	水稲	高性能農業機械の導入による経営規模拡大と乾燥調製施設の整備による収益増加、輸出向け出荷量の増加	輸出向け出荷量の10%以上の増加	H30	12t	84		426	t	12	t	R4	15t	150		760	t	15	t	R4	0t	150	ha	764	t	0	t	*輸出用米買い受け業者からの証明により確認*	-400.0	世界情勢の悪化により，当初予定していた輸出用米の出荷がかなわなくなったことで，Ｒ４年度の目標は未達成となってしまったが，Ｒ５年産においては，販路を確保できる見込みで契約済みで目標達成が見込まれるとのことである。規模拡大については，着実に進めてきており，ほぼ目標達成となった。	令和２年度に計画変更し、成果目標を上方修正している。 輸出用米として作付けしたものの、新型コロナウィルスの感染拡大や国際情勢により目標を達成できなかった。目標年度における成果目標達成に向け、支援を継続する。		